

前書き

皆様、こんにちは！

まずは、この本を手にとったいただきありがとうございます。

私は、20歳でパート事務員として金属加工会社に入社後、35歳で社長になるという夢を叶えた1人の女性です。

ちなみに現在（2019年9月）は起業して9年目、44歳になります。

この本は一言でいえば、パート事務員が社長になった?!

そんなサクセスストーリーなのかもしれませんが、たぶん皆さんが思うようなものではなくて、泥臭いもの。

大阪の汚い小さな町工場で油にまみれて箱詰め作業をして、時には工場の床で毛布にくるまって夜を明かし、町工場のおっちゃんに怒鳴られトイレにこもって悔し涙を流し、怒ったり、泣いたりしながらも、それでも、

「諦めへんで！ やったんで！」

と突き進んできた記録みたいなものです。

第1章では、入社した経緯や普通の女の子がなぜ社長になろうと思ったのかというお話。

第2章では女性管理職と中小企業の現状について。製造業という男性社会の業界において、女性管理職だった経験、女性管理職の目線から見た中小企業の現状などについて書いています。

第3章では女性コンプレックスからの脱却の話。なぜ、私は女なの？ 働く上で女は損している！ みたいに思っている人に読んでほしい話です。

第4章では起業やビジネスの話。そもそも、どうして3つの会社の社長になることになったのか？ これから私も起業してみたいなという方に読んでほしい話です。

第5章では未来の話。皆さんに伝えたいメッセージなどを書きました。

ちなみに、前述しておりますように、現在は3つの会社の社長でもあります。

イベントやコンサルの会社を1つ（東京）。

教育の会社を1つ（岩手）。

そして、金属プレス会社を1つ（京都）。

冒頭に書いたように、私はもともとただのパート事務員です。

たいした学歴もありません。さほど賢くもない女子短期大学を単位ぎりぎりです卒業しましたし、しかも学部は心理学系。

製造業のことも、経営のこともまったく知りませんでした。

さらにお金もない、人脈もない。

そんな普通の人でも、夢を持って進んでいけばこんなにも人生って面白いよ。

私たちは一人ぼっちじゃないよ。

自分から心を開いて人と接することで、いろんなミラクルが起こるよ。

奇跡は偶然じゃなくて、起こすもの。

もとは、働く若い女性に向けて！ と依頼された本ですが、女性も男性も、製造業がわかる人もわからない人も、パートさんも社長さんも楽しんでいただける1冊です。

楽しんで読んでいただければ幸いです。